



論点整理

第二章 質の高い、深い学びを実現し、 分かりやすく使いやすい学習指導要領の在り方 ②

中核的な概念等を活用した一層の表形式化

論点

授業づくりに積極的に活用できるよう、各教科の目標・内容の全体像や、「タテ」「ヨコ」の関係性など、教師にとって構造が視覚的に理解しやすく、分かりやすく、使いやすい記載の在り方について検討する必要がある。



検討の方向性

- ◆ 表形式や箇条書きを積極的に活用することを検討すべき
- ◆ 表形式化は、記載の冗長・複雑さの改善によるスリム化、教科等や学年等を横断した俯瞰しやすさの向上にも資するように検討すべき

日々、自分の行いを振り返る

われひ わ み さんせい
吾日に吾が身を三省す。

ひと ため はか ちゅう ほうゆう まじ しん
人の為に謀りて忠ならざるか。朋友と交わりて信ならざるか。

なら つた
習わざるを伝えしか。

(訳) 私は日に何度も自分の行いを省みる。

人から相談を受けたとき、真心を尽くしていなかったのではないか。

友と付き合うとき、うそをつかなかったか。

自分がまだ十分に理解していないことを、人に伝えたり教えたりしていなかったか。

出典：「壁を乗り越える論語塾」安岡定子著（PHP研究所）